

掛川市「考古の日」記念

出土文化財展

と き：平成9年7月4日（金）～6日（日）

と ころ：掛川市生涯学習センターギャラリー1階



浅間神社古墳群3号墳の埋葬施設

1 9 9 7

掛川市教育委員会

たしま 田島遺跡

1. 調査地
2. 調査の原因
3. 調査の面積
4. 調査の期間
5. 調査の内容

掛川市上内田1-1ほか
市道田島桶田線改良工事
570㎡

平成8年11月～平成9年1月

調査では、建物の柱穴や溝が見つっていますが、全容のわかるものはありませんでした。遺物は市内では類例のないタイプの縄文時代中期の土器や戦国時代の内耳鍋などが見つかり、幅広い時代の遺跡であることが分かりました。「田島」という地名が示すように、水田に囲まれた、やや小高い土地に、人々が長い間にわたり生活していたことがうかがわれます。



縄文土器出土状況



内耳鍋出土状況

おかつはら 岡津原Ⅲ遺跡

1. 調査地
2. 調査の原因
3. 調査の面積
4. 調査の期間
5. 調査の内容

掛川市岡津591-1ほか
市道富部各和線改良工事
491㎡

平成8年7月～8月

今回の調査では、4基の方形周溝墓が見つかりました。これらは、平成3年度の当遺跡の調査で見つかった方形周溝墓と規模がほぼ同じであることから、弥生時代中期のものと考えられます。



方形周溝墓

せんげんじんじやくふんぐん 浅間神社古墳群 3号墳

1. 調査地 掛川市長谷1425
2. 調査の原因 土地区画整理事業
3. 調査の面積 2,000㎡
4. 調査の期間 平成8年12月～平成9年3月
5. 調査の内容 調査では、古墳時代中期の古墳を発見しました。古墳の頂上とふもとから埴輪はにわがみつかりました。



浅間神社古墳群3号墳全景



埋葬施設内の農耕具



古墳のふもとの埴輪



立ったまま見つかった埴輪



横転した埴輪



供えられた壺

長谷土地区画整理地内遺跡

長谷4地点

1. 調査地 掛川市長谷1591
2. 調査の原因 土地区画整理事業
3. 調査の面積 300㎡
4. 調査の期間 平成8年9月～12月
5. 調査の内容 調査では、近世から近代にかけての墓を5つと道路状の遺構を発見し、かわらけ、古銭などが出土しました。



墓穴内のかわらけ



道路状遺構

長谷6地点

1. 調査地 掛川市長谷1791
2. 調査の原因 土地区画整理事業
3. 調査の面積 350㎡
4. 調査の期間 平成8年8月～10月
5. 調査の内容 調査では、弥生時代後期の^{なでみまじょう}竪穴住居跡1軒を発見しました。住居跡からは、土器の破片が出土しました。



竪穴住居跡



住居跡内の柱穴

むかいやまよこあなぐん 向山横穴群

1. 調査地 掛川市長谷1825-1
2. 調査の原因 土地区画整理事業
3. 調査の面積 600㎡
4. 調査の期間 平成8年9月～12月
5. 調査の内容 調査では、古墳時代後期の横穴墓群を4つ確認しました。横穴墓から、土器、ガラス玉、鉄製やじりなど出土しました。



横穴群の全景



1号墓入り口部分



1号墓内部の土器



1号墓の全景



3号墓内部のガラス玉



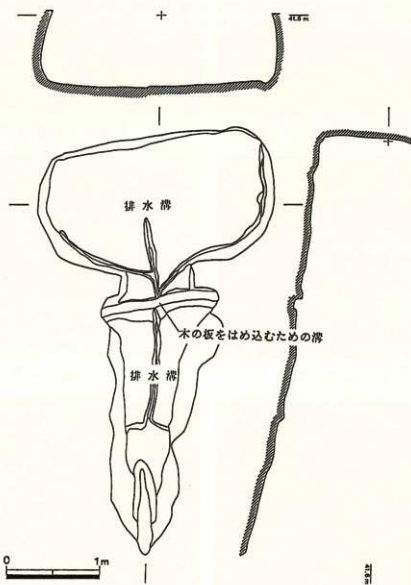
横穴墓群の山の上の土器



1号墓出土のはそう（酒器）



はそう実測図



1号墓実測図

しんでん よこあな ぐん 新田横穴群 D 群

1. 調査地 掛川市長谷1392-1
2. 調査の原因 畑地造成
3. 調査の面積 500㎡
4. 調査の期間 平成8年10月～平成9年2月
5. 調査の内容 調査では古墳時代後期の横穴4基と竪穴住居跡1軒が発見されました。横穴は盗掘を受けていましたが、須恵器の坏・壺、土師器の脚付き碗、鉄製の鎌などが発見されました。

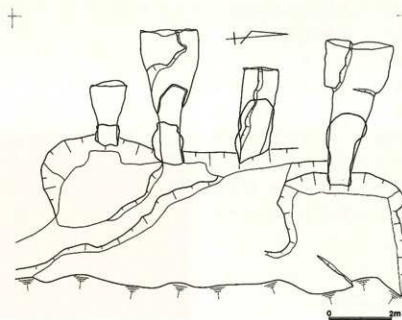
竪穴住居跡は横穴群が位置する斜面に近接して発見されました。住居内にはカマドが設けられており、土師器の坏・壺などが多数出土しました。



横穴完掘状況



閉塞石出土状況



横穴全体図

きょうとくよこあなぐん 京徳横穴群

1. 調査地 掛川市上張字京徳66-11
2. 調査の原因 東名IC周辺土地地区画整理
3. 調査の面積 500㎡
4. 調査の期間 平成8年12月～平成9年1月
5. 調査の内容 調査では、墓前城（死者を弔うお祭りを行った場所）を持つ横穴墓を1基確認しました。横穴墓の中には何も残されていませんでしたが、墓前城には環身、環蓋、筒環がありました。



横穴近景



横穴遠景

こせんよこあなぐん・はらとりで 古戦横穴群・原砦 (確認調査)

1. 調査地 掛川市本郷字北ノ谷2406-3
2. 調査の原因 土取工事
3. 調査の面積 80㎡
4. 調査の期間 平成9年1月～2月
5. 調査の内容

今回の調査は、遺跡の広がりなどを確認するために行いました。原砦に関連すると考えられる中世の陶器と横穴が数基あることがわかりました。



レンズ状に堆積した部分が横穴
(↓の部分)

やさかべっしょ 八坂別所遺跡

1. 調査地 掛川市八坂字別所182-1ほか
2. 調査の原因 農免農道新設工事
3. 調査の面積 2,415㎡
4. 調査の期間 平成8年6月～12月
5. 調査の内容 調査では、掘立柱建物跡や一列にならぶ柱の跡や区画のための溝が発見されました。遺物は弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器があり、底に“太郎”と書かれた鎌倉時代の茶碗も見つかっています。



調査地の一部（空中写真）



掘立柱建物跡

かしらじ 頭地遺跡

1. 調査地 掛川市八坂字頭地542ほか
2. 調査の原因 県営農地整備事業に伴う道路新設工事
3. 調査の面積 1,528㎡
4. 調査の期間 平成9年1月～3月
5. 調査の内容 調査では、奈良時代～平安時代の掘立柱建物や溝が見つかりました。また、隣接地を流れる逆川の旧流路の一端が確認できました。



調査区の一部（空中写真）



掘立柱建物跡など

かけがわじょうに まる 掛川城二の丸跡

1. 調査地 掛川市城内
2. 調査の原因 美術館建設
3. 調査の面積 2,000㎡
4. 調査の内容 調査によって、二の丸跡は江戸時代だけではなく、弥生時代中期から戦国時代の遺構が重複した遺跡であることが分かりました。

現存する二の丸御殿の台所跡の柱穴（根固め石）・カマド跡・井戸などが発見され、台所が御殿の図面とおりの位置にあることがわかりました。

戦国時代の遺構では堀・トイレ・井戸が発見され、鎌倉時代から戦国時代にかけては掘立柱建物跡と考えられる柱穴が多数発見されました。弥生時代中期には複数の方形周溝墓がつくられ、墓域として使われていたようです。溝内からは土器が出土しました。



江戸時代の遺構面



弥生時代から戦国時代の遺構面



御殿台所跡



台所跡柱穴根固め石

みこじ 神子地遺跡

1. 調査地 掛川市逆川342ほか
2. 調査の原因 工場用地拡張工事
3. 調査の面積 400㎡
4. 調査の期間 平成9年2月～3月
5. 調査の内容 調査では、弥生時代中期後半の方形周溝墓^{ほうけいしゅうこうぼ}が2基と溝状遺構が5条、また中世の溝状遺構が2条と小穴が12発見されています。

方形周溝墓は並んで造られており、間の溝を共有しています。溝の中からは壺が見つかりました。また、人を埋葬した穴も見つっていますが、副葬品^{ふくさうひん}は確認されませんでした。



調査区全景



方形周溝墓の溝から見つかった壺

下に遺跡はありますか？ 工事計画の前に確認して下さい

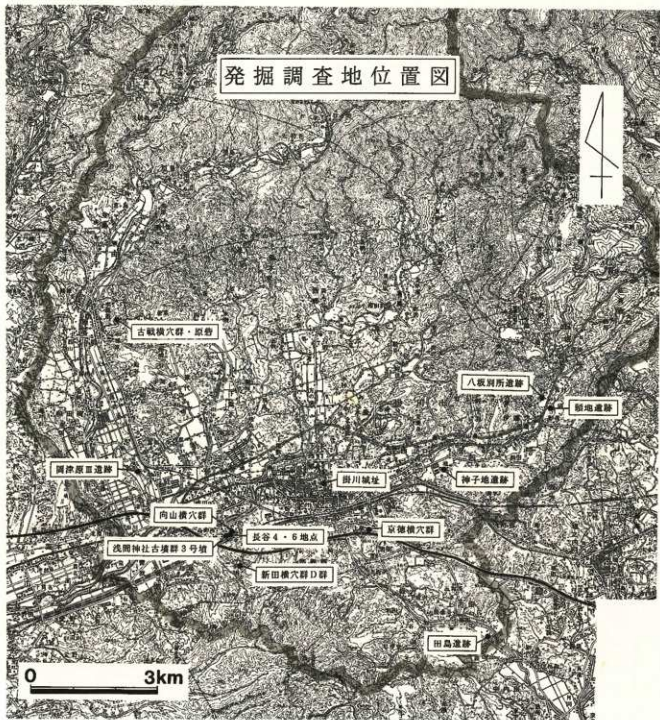
現在、掛川市には940もの遺跡があり、県内でいちばん遺跡の多い市だといわれています。こうした遺跡（埋蔵文化財）は、私たちの「心のふるさと」ともいわれ、後世の人たちに伝えていくことが大切です。

このため、「文化財保護法」で、遺跡のある場所で土木・建築工事や茶園の改植などをする場合には、事前に文化庁に届出をすることが義務づけられています。

工事のため申請したが、遺跡の調査で完成が遅れてしまった——ということがないように、工事を計画する場合には、早めに掛川市教育委員会社会教育課にご相談ください。

なお、市内にある遺跡の様子を示した『掛川市遺跡地図』があります。計画する前にぜひ確認してください。

掛川市教育委員会 社会教育課 文化振興係 TEL(21)1158



掛川市「考古の日」

明和9年5月21日（陰暦）現在の長谷字小出ヶ谷地区において、銅鐸一口が発見され、掛川藩に届出されました。これが現在の文化財保護法の遺物の発見届と同じことで、この日を記念して、市民の埋蔵文化財に対する理解と、これらを保護・保存しようとする意識の向上を願い、毎年5月21日を掛川市「考古の日」として設定しました。



文化財愛護シンボルマーク